

2024年度

キッコーマン株式会社

行動目標	
取り組む課題	食塩（ナトリウム）の過剰摂取
中長期的な目標	2030年までにキッコーマンしょうゆ*（家庭用）の日本国内での減塩タイプしょうゆの売上構成比を35%にする。 *減塩タイプしょうゆ：減塩・低塩しょうゆ
行動計画	2024年度までに日本国内のキッコーマンしょうゆ（家庭用）における売上構成比を25%にする。
実施期間	2022年4月～2025年3月
評価指標（KPI）	キッコーマンしょうゆ（家庭用）の日本国内での減塩タイプしょうゆの売上構成比。
評価指標の直近の数値	22%（2021年度）
評価指標のモニタリング手法	日本国内の減塩タイプしょうゆの売上構成比を算出。
中長期的な目標 行動計画の背景・理由 現状の課題認識	国内しょうゆ市場において減塩タイプしょうゆの需要が伸びている。国内しょうゆシェアトップの当社が数値目標を掲げることでこのトレンドを加速させ、食塩（ナトリウム）の過剰摂取解決に寄与する。

実績報告

実績報告日

2025年6月16日

取組実施期間

2024年4月～2025年3月

実績

22.2% ※国内家庭用数量ベース

実績等の補足説明

<評価>

減塩タイプしょうゆの自体の数量は伸びたが、他のしょうゆの伸びもあり構成比が下がった。

<課題>

コロナの終息以降、徐々に健康意識の低下が見られる。また健康課題も多岐にわたる。直近では塩分への意識が減る傾向にあったという仮説をもっている。

今後の計画とその理由

2027年度までに売上構成比30%を目標とする。

商品開発、広告活動、啓発活動を今まで以上に強化して目標達成を目指す。